

ご存じでしたか？「2024年物流問題」5つのポイント

NEXT Logistics Japanが 日本の物流課題と政策パッケージを
わかりやすく解説するプレスセミナーを実施

NEXT Logistics Japan 株式会社（本社：東京都新宿区、社長：梅村幸生 以下、NLJ）は、荷主・物流事業者など 20 社のパートナー企業と共に物流課題解決を目指し、新たなテクノロジーを活用し、より少ないトラックとドライバーでたくさんのモノを運ぶための仕組み・システムと枠組みづくりに取り組んでおります。

2023年7月21日に、NLJの相模原センターにて「2024年問題だけではない。日本の物流の抱える緊急課題」をテーマにプレスセミナーを開催しました。そこでご紹介した内容を報告します。

1. 当社代表梅村による講演

「日本の物流課題5つの驚き 及びNEXT Logistics Japanが示す物流の未来」

と題し、今後起こりうる物流の5つの課題を、ある家族に起きた悲劇を例にご説明しました。

➤ 知られざる物流における「5つの驚き」

驚き
1

「日本の貨物輸送量」のうち91.6%がトラック輸送。
トラックが日本の輸送の多くの部分を支える
トラックドライバーの不足がダイレクトに“運べない”に繋がる

驚き
2

トラック輸送の多くは企業物流やその生産を支える
原材料や農作物など
これらの輸送が困難になると、企業の生産・流通などの
活動が滞り、“モノが作れなくなる”

驚き
3

トラックドライバーは稼げる職業ではなくなった
労働環境の過酷さと合わせて、特に若者を中心とした
労働者に嫌がられてしまう傾向に

驚き
4

トラック輸送の生産性は低く積載率は40%を切っている。
いわば、6割が空気を運んでいる
生産性を上げ、付加価値を創出しないと、持続的な
サービスとしてのトラック輸送が成り立たない

驚き
5

労働時間の上限960時間という、一般的に言えば
「過労死」レベル
2024年は更なる改善が求められる「始まり」にすぎない



2. 立教大学 経済学部 首藤若菜教授の講演（労働経済学専門）

「日本の物流は持続可能なのか」と題してご講演頂きました。

1. 2024年問題とは

- ・「トラックドライバーの労働時間が短くなるため、これまでと同じように荷物を運べなくなるのではないか」という懸念
- ・「働き方改革」と残業規制
自動車運転の業務は、上限規制の適用が猶予。かつ除外され、さらに、**時間外労働の上限を年960時間とする別の基準が設けられた**
- ・「時間外労働 年960時間」が意味すること・・・過労死ライン
- ・「2024年問題」は2024年で終わらない
一般労働者と同じ規制のもとでドライバーが働くには、**今後さらに労働時間の短縮が必要**



2. ドライバーの賃金

- ・労働条件の低下
「キツいが、稼げる仕事」から「キツくて、稼げない仕事」へ
- ・「2024年問題」後の賃金水準は？
労働時間の削減により、賃金が下がれば、さらに人手不足に陥る懸念

3. どうすればいいのか？

- ・生産性の向上
例) より多くの荷物を運び、より高い運賃を獲得する
- ・物流を止めないために、ドライバーの労働時間を短くするために
荷主・運送会社、そして私たち消費者の理解と協力が必要

3. パートナー企業様よりNLJへのメッセージ

“業種業態の壁を超え、各社の知見や先進技術を活用し、NLJと共に社会課題解決に取り組む”
パートナー企業の4名様からビデオメッセージを頂きました！

- ・アサヒグループホールディングス
アサヒロジ株式会社
取締役副社長 島崎市朗 様
- ・トランコム株式会社
取締役 執行役員 上林亮 様
- ・三菱HCキャピタル株式会社
常務執行役員 中井健夫 様
- ・株式会社ユーネットランス
代表取締役 副社長 石川清茂 様



4. 技術デモンストレーション

会場の相模原センターでは、下記の技術デモンストレーションも実施しました。

①世界最大級 全高4.1mダブル連結トラック



②量子コンピューターを使用した、自動割り付け・積み付けシステムNeLOSS（ネロス）



③自動運転フォークリフト×自律走行搬送ロボットによる、荷下ろしの自動化



④水素で走るFCEV大型トラック



◆ 各プログラムの詳細・資料について

- 技術デモンストレーションの動画は、弊社のNEXT Logistics Japan公式YouTubeに掲載しておりますので、ぜひご視聴ください！

公式YouTubeURL : <https://www.youtube.com/@nextlogisticsjapan1350>

- 弊社代表の梅村、立教大学の首藤先生の講演の動画をご欄になりたい方、また資料をご要望の方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。

◆NEXT Logistics Japan株式会社について

NEXT Logistics Japan（株）は「ドライバー不足の解消」、「カーボンニュートラル」、「ホワイト物流の実現」といった社会課題の解決を目的にトヨタグループのメンバーを中心に 2018 年に設立されました。

現在は、この3つの社会課題に対し、より少ないトラックとドライバーでより多くのモノを運ぶため、リアルな輸送を通じて、さまざまな新しいテクノロジーを実装しながら、パートナー、Plus+の企業の皆様とともに仕組みと枠組み作りを進めて参りました。

具体的には、量子コンピュータを活用した自動割り付け・積み付けシステム『NeLOSS』、世界最大級ダブル連結トラックを中心とした『ロードトレイン』、日本を代表する製造業、小売、外食といった様々な 40 社を超える荷主・物流事業者を組み合わせた『異業種混載』、自動運転フォークリフトと搬送ロボットによる『荷役の自動化』、『FCEV大型トラックの 社会実装』など様々な取り組みを進めております。

今後も社会課題の解決に向けて、一緒に取り組んでいく企業様を募り、全国に拡大すべく活動をして参ります。

<取材申し込み・問い合わせ先>

NEXT Logistics Japan 株式会社 仲間づくり Div 高木 船越
info@next-logistics-jp.jp TEL : 03-6911-1691